



財務諸表等の要約

■貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部				
科目	18年度 (H19.3.31)	19年度 (H20.3.31)	20年度 (H21.3.31)	増△減(前年比較)
固定資産	352,580	367,800	382,200	14,400
土地	166,005	166,005	165,997	△ 8
建物 ^{*1}	150,794	166,000	173,857	7,857
減価償却累計額	△ 32,705	△ 40,267	△ 47,908	△ 7,641
構築物	13,357	13,776	14,172	396
減価償却累計額	△ 2,595	△ 3,291	△ 3,974	△ 683
減損損失累計額	—	△ 1	△ 2	△ 1
工具器具備品	44,435	55,706	69,845	14,139
減価償却累計額	△ 25,456	△ 32,852	△ 41,356	△ 8,504
図書 ^{*2}	31,307	31,842	32,395	553
美術品・収蔵品	726	726	715	△ 11
建設仮勘定 ^{*3}	227	3,570	5,841	2,271
特許権 ^{*4}	19	30	52	22
借地権 ^{*5}	1,205	1,205	1,205	—
ソフトウェア	313	270	268	△ 2
投資有価証券 ^{*6}	4,281	4,205	7,569	3,364
長期性預金	—	—	2,600	2,600
その他	664	873	920	47
流動資産	44,989	49,257	48,415	△ 842
現金及び預金	37,652	6,482	9,499	3,017
未収学生納付金収入	231	239	252	13
徴収不能引当金	△ 68	△ 70	△ 71	△ 1
未収附属病院収入	5,109	5,141	5,417	276
徴収不能引当金	△ 370	△ 398	△ 431	△ 33
未収入金	622	969	751	△ 218
徴収不能引当金	0	0	0	—
有価証券	999	36,001	32,212	△ 3,789
たな卸資産	24	25	22	△ 3
医薬品及び診療材料	493	399	352	△ 47
その他	294	466	410	△ 56
資産合計	397,569	417,057	430,615	13,558

注) 百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。

(※1) 平成20事業年度の施設整備事業としては、(中央)附属図書館の改修、(中央)総合研究1号館等改修などを行っています。また、財団法人稲盛財団により稲盛財団記念館をご寄附いただきました。

(※2) 平成20事業年度は、約11万冊、約5億円の図書を取得しています。

(※3) 建設中である建物や構築物などに係る建設資材の購入費用や手付金など、その資産を取得するための支出額を計上するときに使う科目のことです。iPS細胞研究拠点施設新営工事・耐震対策事業などにより、約22億円増加しています。

(※4) 特許申請に要した経費を資産計上しています。

(※5) 研究林、地震観測所等に係る地上権です。

(※6) 資金運用を行っている国債・地方債等です。

(単位:百万円)

負債の部				
科目	18年度 (H19.3.31)	19年度 (H20.3.31)	20年度 (H21.3.31)	増△減(前年比較)
固定負債	90,494	97,421	102,842	5,421
資産見返負債 ^{*7}	49,799	56,906	62,068	5,162
センター債務負担金 ^{*8}	27,797	24,291	21,415	△ 2,876
長期借入金 ^{*9}	450	950	2,037	1,087
長期未払金	12,447	15,225	17,242	2,017
その他	—	48	78	30
流動負債	42,392	46,694	51,296	4,602
運営費交付金債務	3,421	3,338	3,594	256
寄附金債務 ^{*10}	14,181	12,884	17,875	4,991
前受受託研究費等	834	1,098	1,981	883
一年以内返済予定センター債務負担金	3,608	3,505	2,875	△ 630
一年以内返済予定長期借入金	58	58	154	96
未払金	18,046	23,356	22,479	△ 877
その他	2,241	2,452	2,334	△ 118
負債合計	132,887	144,116	154,138	10,022

純資産の部				
科目	18年度 (H19.3.31)	19年度 (H20.3.31)	20年度 (H21.3.31)	増△減(前年比較)
資本金	244,529	244,529	244,526	△ 3
政府出資金	244,529	244,529	244,526	△ 3
資本剰余金^{*11}	4,617	8,008	6,581	△ 1,427
資本剰余金	36,040	46,635	52,259	5,624
損益外減価償却累計額	△ 31,417	△ 38,620	△ 45,670	△ 7,050
損益外減損損失累計額	△ 5	△ 6	△ 7	△ 1
利益剰余金	15,534	20,403	25,368	4,965
教育研究等積立金 ^{*12}	5,457	6,562	7,410	848
積立金 ^{*13}	4,983	7,587	11,093	3,506
当期末処分利益 ^{*14}	5,094	6,252	6,863	611
純資産合計	264,682	272,941	276,476	3,535
負債・純資産合計	397,569	417,057	430,615	13,558

(※ 7) 資産見返負債とは、固定資産を取得した場合に取得原価に相当する金額を振り替え、当該資産が費用化(減価償却費)される時点において資産見返負債戻入として収益化する会計処理のための勘定です。

(※ 8) センター債務負担金とは、国立大学財務・経営センター債務負担金のことであり、法人化の際に国立学校特別会計から承継した長期借入金です。

(※ 9) 附属病院の設備購入のため、法人化後、国立大学財務・経営センターから借り入れたものです。

(※ 10) 寄附金債務とは、次年度へ繰越される寄附金の残高です。平成20事業年度は、寄附病棟建設に係る寄附金の受入(35億円)などにより、増加しています。

(※ 11) 施設費による固定資産の取得等の増(約56億円)と損益外減価償却累計額等の増(約70億円)の差額が当期の減少分となっています。

(※ 12) 平成16～19事業年度の利益剰余金のうち、経営努力認定(文部科学大臣の承認)を受けた目的積立金で、本学の定めた剰余金の使途に使用する予定です。平成20事業年度は約20億円を使用しました。(20年度の教育研究等積立金約74億円には、使用した約20億円のうち、建設仮勘定に係る約11億円を含みます。)

(※ 13) 平成16～19事業年度の利益剰余金のうち、経営努力認定外の資金の裏付けのない積立金で、将来の損失と相殺されます。

(※ 14) 当期末処分利益とは、平成20事業年度の利益剰余金で、収益から費用を差し引いた損益計算書の当期総利益の額と一致します。